

# 令和4年度 横浜市精神保健福祉審議会 第1回 依存症対策検討部会

日 時 : 令和4年7月8日(金)  
午後4時30分～午後6時30分(予定)  
会 場 : 横浜市こころの健康相談センター 会議室  
We b会議形式も併用した開催

## 《次 第》

### 1 開会

### 2 報告

- (1) 令和3年度の依存症対策事業の事業実績について
- (2) 令和4年度の依存症対策事業の事業内容について

### 3 議題

- (1) 令和5年度の依存症対策事業の事業案について

### 3 その他

#### 【配付資料】

- 資料1 令和3年度 依存症対策事業の事業実績について  
資料2 こころの健康相談センター等における令和4年度の依存症対策事業について

資料 1

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム (具体的に)		
ア 若年層への啓発・依存症予防の知識の提供	・依存症の正しい理解を促進する広報物の作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症啓発リーフレット等の作成	○	○	○	○	すべて	・「依存症って知っていますか？」 ・「依存症のお悩みを抱えるあなたへ」 ・「横浜市でギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ」ほか
	・ゲーム障害の正しい理解を促進する、啓発資料の作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	市立小中学校に通う小学4年生から中学3年生の保護者に家庭でのゲームとの付き合い方やルール作りを促すちらしを作成し、学校を通じて配布。				○		・「家族で考えよう！ゲームとのつきあい方」 配布数：約174,000部
	・ホームページ等を活用し、依存症を含む、青少年向けの広報・啓発の実施	こども青少年局青少年育成課	実施	【取組名】 高校生世代の居場所や相談先をみつける横浜市情報サイト「ふあんみつけ」 【内容】 青少年と青少年に身近な大人に対して、青少年の課題や相談機関・専門機関について啓発することで、青少年の課題が深刻化する前に相談などの適切な対処方法を伝えることを目的として運営。		○	○	○		サイトの周知を実施 ・市立中学校3年生 ・市立高校3年生 ・各区こども家庭支援課 ・市立図書館 ・その他関係施設
	・教員や保護者、地域の大人や団体、区役所などの支援者が支援や指導に活用できる依存症に関する「子ども・若者どこでも講座」の実施	こども青少年局青少年育成課	実施	【取組名】 知っておきたい！子ども・若者どこでも講座 【内容】 全ての青少年が様々なリスクにさらされているという認識のもと、抱える課題の理解を促進するとともに、青少年の育ちを地域全体で見守ることができる環境づくりを目的とし、主に地域・学校で行われる「子ども・若者」をテーマとした講演会・研修会等に講師を派遣する『知っておきたい！子ども・若者どこでも講座』		○		○		知っておきたい！子ども・若者どこでも講座 実施回数：17回
	・子ども・若者支援に携わる支援者のスキルアップを図ることを目的とした研修の実施	こども青少年局青少年相談センター	実施	厚生労働省の地域自殺対策緊急強化事業の一つとしても取り組み、若者や支援者のメンタルヘルスを理解し、よりよい支援へとつなげていくことを目的とした「若者相談支援スキルアップ研修 メンタルヘルスコース」の一つのテーマとして、対面による研修にて実施。				○		日時：2/3 テーマ：ネット・ゲームにまつわる問題の理解と支援 講師：青山 久美氏（横浜市立大学市民総合医療センター児童精神科助教） 参加者：33名 理解度：97%（アンケートの「とても深まった」、「少し深まった」の合計）
	・ゲーム障害も含めた依存症の正しい理解を促進する、小中学校での啓発資料の配布や理解に向けた授業等の実施	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】市立小中学校に通う小学4年生から中学3年生の保護者に家庭でのゲームとの付き合い方やルール作りを促すちらしを学校を通じて配布。				○		・【再掲】「家族で考えよう！ゲームとのつきあい方」 配布数：約174,000部

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	（具体的に）その他		
(1) 総合的な依存症対策の取組		・子どもが豊かに成長するために、家庭での保護者等の関わり等について、ホームページ等で普及啓発を実施	教育委員会事務局学校支援・地域連携課	実施	本市ホームページ「よこはま家庭教育支援『はまっこ子育て』」のQA及び相談先紹介の中で、ゲーム依存等について掲載。				○		本市ホームページへの掲載。
	イ	それぞれの年齢等に適した普及啓発・予防教育の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成 【再掲】小中学校配布用ゲーム啓発ちらし	○	○	○	○	すべて	・【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ・【再掲】小中学校配布用ゲーム啓発ちらしの作成・配布
		・ホームページやSNSなど、様々な媒体を活用した普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・本市ホームページへの情報掲載 ・Twitterでの情報発信	○	○	○	○	すべて	・本市ホームページへの各種コラム等の掲載 ・啓発週間等に合わせた市公式Twitterからの情報発信
	ウ	大学生への啓発	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	大学・都市パートナーシップ協議会参加大学等へリーフレットを送付	○	○	○	○	すべて	・「依存症って知っていますか？」 ・29校に10部ずつ送付
		・横浜市立大学で、大学生の健康診断に合わせて、啓発資料の配布・掲示、保健指導の実施	政策局大学調整課	実施	啓発資料の配布・掲示	○	○				啓発資料の配布・掲示の実施
		・市内にキャンパスを置く国公私立大学に対し、若年層向けの啓発資料の提供	政策局大学調整課	実施	大学・都市パートナーシップ協議会参加大学へリーフレットの配架に関する協力依頼	○	○	○	○		・「依存症って知っていますか？」 ・29校に10部ずつ送付
	エ	身近な支援者等による啓発	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症啓発リーフレット 【再掲】小中学校配布用ゲーム啓発ちらし	○	○	○	○	すべて	・【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ・【再掲】小中学校配布用ゲーム啓発ちらしの作成・配布
		・幅広い市民が訪れる身近な支援機関の窓口等での依存症に関する広報物の配架・配布	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区子ども家庭支援課 区福祉保健課 区政推進課 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	・依存症って知っていますか？ ・依存症のお悩みを抱えるあなたへ ・依存症のお悩みを抱えるご家族の皆様へ ・依存症家族教室のご案内 ・横浜版依存症回復プログラムWAI-Yのご案内 ほか広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	窓口への配架等
		・区役所の精神保健福祉相談等でのこころの健康に関する相談を実施	区高齢・障害支援課	実施	精神保健福祉相談を実施	○	○	○	○	すべて	各区の精神保健福祉相談でこころの健康に関する相談を実施 (実績) 相談延件数：20,977件(心の健康づくり)

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）		
重点施策1 予防のための取組	オ 心身の健康を保つ取組	・ストレスチェックや対処法、こころの病気に関する基本的知識等についてホームページやリーフレット等により啓発を実施 健康福祉局こころの健康相談センター	実施	・市ホームページにこころの健康に関する情報を掲載。 ・市職員や市内福祉避難所に配布した「災害・事件・事故 こころのケアハンドブック」に依存症について注意喚起するチラシを掲載。	○	○	○	○	○	・リーフレットは市ホームページへの掲載の他、市民利用施設に配布した。 ・メンタルヘルスサポート事業「KOKOROBO」について、市ホームページに掲載した。 ・メンタルヘルス啓発動画を作成した。	
		・こころの電話相談で、区役所の閉庁時間である平日夜間帯の一部及び休日にこころの健康に関する相談を実施 健康福祉局こころの健康相談センター	実施	こころの電話相談は、365日こころの健康に関する相談に対応し、必要に応じて、専門相談窓口を案内している。	○	○	○	○	○	性・窃盗等 相談件数（依存症以外の相談も含む） 7,430件	
		・生活習慣改善相談として、健康診断の数値・結果データの見方や、生活習慣病・禁煙に関する相談を実施 健康福祉局保健事業課	実施	生活習慣改善相談における禁煙相談の実施		○					延べ48人実施
		・「よこはまグッドバランス賞」の認定などを通じ、市全体のワーク・ライフ・バランス推進を目指した取組を実施 政策局男女共同参画推進課	実施	「よこはまグッドバランス賞」認定事業							・令和3年度認定企業数：205社 ・認定企業に対し「経営者向け女性リーダー育成セミナー」をオンラインで実施
		・「よこはまグッドバランス賞」の認定などを通じ、市全体のワーク・ライフ・バランス推進を目指した取組を実施 こども青少年局企画調整課 こども青少年局地域子育て支援課	実施	啓発冊子（あなたとわたしのワーク・ライフ・バランスハンドブック）の配布							配布部数：4,300冊
	カ 様々な課題への支援	・区役所の関係各課において、依存症の本人が直面する様々な課題に対する相談対応や必要な支援を実施 ・担当課だけで対応が難しい場合、関係機関等との横断的な情報共有や連携した対応を実施 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	各区窓口で相談対応や必要な支援を実施。	○	○	○	○	○	すべて 各区窓口で相談対応や必要な支援を実施。	
		・教育相談の中で学校生活上の困りごとについて相談対応を実施 ・学校カウンセラー等が教職員と連携し、児童・生徒や保護者の相談に対応 教育委員会事務局人権教育・児童生徒課	実施	スクールカウンセラー活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業。					○		該当の相談を受けた場合は、必要に応じ、スクールソーシャルワーカー経由で関係部署と連携して対応。

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施している ものも、担当課を分けて 記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他 （具体的に）	
(2) アルコール依存症に特化した取組	ア 多量飲酒等の防止（適量な飲酒）への取組	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	家族教室の11月分として、夜間にアルコール依存症についての啓発セミナーを実施。	○					日時：11/26 テーマ：アルコール依存症専門医療機関での治療と家族の回復 講師：大石 泰史氏（誠心会神奈川病院精神科医師） 参加者：45名
		消防局人事課	実施	消防局の責任職・衛生管理者向けに、職員の健康管理に役立ててもらうため、アルコール依存症をテーマに研修を実施。	○					1回、75名
		健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	「よこはま企業健康マガジン」に記事配信	○					こころの健康に関する記事を配信（アルコールに関する記述含む） 1回送付。
		健康福祉局保健事業課	実施	啓発リーフレットの配布	○					・「それって、ストレスのせいじゃないの？」 各区福祉保健課に100部ずつ送付
		健康福祉局保健事業課	実施	「よこはま企業健康マガジン」に記事配信	○					1回配信 約1000人 登録企業対象
	イ 未成年飲酒防止・不適切な誘引防止の取組	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	小学校「病気の予防」 中学校「健康な生活と疾病の予防」 高等学校「現代社会と健康」	○	○			喫煙	学習指導要領に基づき該当学年の児童生徒を対象に実施
	ウ 女性特有の課題に応じた適切な飲酒の防止の取組	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・支援者向けガイドラインへの掲載 ・男女共同参画推進センターへリーフレットを送付	○	○	○	○	すべて	・「依存症って知っていますか？」 ・10部送付
		政策局男女共同参画推進課	実施	心とからだで生き方の総合相談	○	○	○	○	買い物依存 摂食障害	2,700件（見込） ※依存症以外の相談含む

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施している ものも、担当課を分けて 記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム （具体的に） その他	
(3) 薬物依存症に特化した取組	ア 教職員等向け研修の実施	・ 青少年の薬物乱用防止や薬物依存症の予防に向けて、市内小・中・高等学校の教職員等を対象とした薬物乱用による心身への影響や依存症に関する研修会の実施 健康福祉局医療安全課	実施	教職員を対象に、指導の一層の充実のため、薬物乱用防止啓発指導者研修会の実施		○			「薬物依存症の精神病理と薬物乱用防止教育のあり方」 教職員向けe-ラーニングで配信 配信期間：9/21～12/31 受講者：181名
		・ 青少年の薬物乱用防止や薬物依存症の予防に向けて、市内小・中・高等学校の教職員等を対象とした薬物乱用による心身への影響や依存症に関する研修会の実施 教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】教職員を対象に、指導の一層の充実のため、薬物乱用防止啓発指導者研修会の実施		○			【再掲】薬物乱用防止啓発指導者研修会の実施
	イ 薬物乱用防止への取組	・ 市民に対する薬物乱用防止を目的とした、薬物に関する正しい知識や危険性の普及啓発の実施 健康福祉局医療安全課	実施	第10回薬物乱用防止キャンペーンin横浜		○			・ 12/15～1/31 ・ Web開催
		・ 薬物乱用防止庁内連絡会を通じた関係機関との連携や情報共有の実施 健康福祉局医療安全課	実施	令和3年度薬物乱用防止対策庁内連絡会		○			・ 書面開催
(4) ギャンブル等依存症に特化した取組	ア 高等学校の保健体育におけるギャンブル等依存症の教育	・ 高等学校の保健において、アルコール、薬物などの物資への依存に加えて、ギャンブル等に関する授業の実施（ギャンブル等への過剰な参加は習慣化すると嗜癖行動になる危険性があり、日常生活にも悪影響を及ぼすことに触れる） 教育委員会事務局高校教育課	実施	科目：保健において「現代社会と健康」の単元等で扱う	○	○	○		学習指導要領に基づき該当学年の生徒を対象に実施
	イ 場外券売り場などでの普及啓発	・ 公営競技の場外券売り場等において、依存症の予防教育・普及啓発に関する広報物の配架・配布 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	公営競技の場外券売り場等での啓発カードの配架依頼			○		・ 「横浜市でギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ」 ・ 30部ずつ5か所（ウインズ横浜、JRA エクセル伊勢佐木、ジョイホース横浜、ポートピア横浜、サテライト横浜）に送付
重点施策2	ア 依存症について関心をもち正	・ 電車の交通広告やインターネット・SNSなどを活用した、依存症の正しい理解を促進する普及啓発の実施 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	公共交通での動画広告の掲載	○	○	○	すべて	放映場所：市営地下鉄、JR横浜線、相鉄線、横浜シーサイドライン、神奈中バス、市営バスの車内広告及びみなどみらい線ホームドアビジョン（馬車道駅、元町・中華街駅） 放映期間：28日間以上×3回（5～6月、9～10月、11～12月）

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム （具体的に） その他	
依 存 症 に 関 す る 普 及 啓 発  (1) 総合的な依存症対策の取組  イ 依存症の正しい知識の普及啓発	正しい理解を促進する普及啓発 ・ 市民向け講座の開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内で一般市民及び依存症の家族等向けの依存症の基礎知識の提供や早期の相談につながる市民向け講座を開催	○				日時：11/8 テーマ：「こんなご時世だからこそアルコールについて考えよう」 講師：菱本 明豊（横浜市立大学市民総合医療センター教授）、宮内 雅利（同センター助教）、大曾根しのぶ（同センター精神保健福祉士） 参加者：51名
	・ 依存症の正しい理解を促進する広報物の作成・配布、講演会等の開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成 【再掲】 横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内での市民向け講座の開催	○	○	○	○	すべて （リーフレット） 【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成（市民向け講座） 【再掲】 市民向け講座の開催
	・ 依存症の正しい理解を促進する広報物の作成・配布、講演会等の開催	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	依存症に関する講演会の開催	○	○	○	○	依存症家族教室講演会（青葉区、港北区）を開催
	・ 民間支援団体等による講演会等について、周知協力などの開催支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	民間支援団体等主催の講演会等の周知	○	○	○	○	すべて こころの健康相談センターでのちらしの配架、区等への情報提供、後援名義の承認等
	・ 民間支援団体等による講演会等について、周知協力などの開催支援の実施	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	民間支援団体等による講演会等への周知協力・参加	○	○	○	○	開催案内の配架等
ア 依存症の本人や家族等が相談につながる普及啓発	・ 電車の交通広告やインターネット・SNSなどを活用した、相談につながる普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ インターネットリスティング広告 ・ 【再掲】 公共交通での動画広告の掲載	○	○	○	○	すべて （インターネットリスティング広告） ・ GoogleやYahoo!の検索サイトで依存症に関連する語で検索した場合に、相談を促す広告を表示（6～7月、12～2月） （公共交通動画広告） 【再掲】 公共交通での動画広告の掲載
	・ 厚生労働省が定める啓発週間に合わせた、相談拠奨や市民向けセミナーの開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 広報よこはまへの記事掲載 ・ 家族向けセミナー ・ 市庁舎デジタルサイネージ ・ 【再掲】 公共交通での動画広告の掲載 ・ 【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成 ・ 【再掲】 Twitterでの情報発信	○		○		すべて ・ 広報よこはま記事掲載（5月号、11月号） ・ 家族向けセミナー（ギャンブル） 日時：5/20 テーマ：ギャンブル依存症専門医療機関での治療と回復 講師：黒澤 文貴 氏（神奈川県立精神医療センター依存症診療科医長） 参加：30名 （アルコール）

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	（具体的に）その他		
(1) 総合的な依存症対策の取組  重点施策 3	イ 幅広く身近な場所での普及啓発	・ 依存症の本人や依存症が疑われる人及びその家族等が相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成・配布	○	○	○	○	すべて	【再掲】 啓発リーフレットの作成及び関係機関への配布
		・ 依存症の本人や依存症が疑われる人が訪れる可能性の高い区役所の関係各課の窓口などで、依存症の相談につながる相談支援機関の広報物の配架・配布	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	・ 依存症って知っていますか？ ・ 依存症のお悩みを抱えるあなたへ ・ 依存症のお悩みを抱えるご家族の皆様へ ・ 依存症家族教室のご案内 ・ 横浜版依存症回復プログラムWAI-Yのご案内 ほか広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	窓口への配架等
		・ 精神障害者生活支援センターや基幹相談支援センター、地域ケアプラザ、発達障害者支援センターなど、依存症の本人や依存症が疑われる人が訪れる可能性のある身近な支援者の窓口などで、依存症の相談につながる相談支援機関の広報物の配架・配布	基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	・ 依存症って知っていますか？ ・ 依存症のお悩みを抱えるあなたへ ・ 依存症のお悩みを抱えるご家族の皆様へ ・ 依存症家族教室のご案内 ・ 横浜版依存症回復プログラムWAI-Yのご案内 ほか広報物の配架・配布をこころの健康相談センターより依頼	○	○	○	○	すべて	窓口へ配架等
	ウ 家族等向けの啓発	・ 依存症の本人や依存症が疑われる人の家族等に対し、相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成	○	○	○	○	すべて	【再掲】 啓発リーフレットの作成及び関係機関への配布
		・ 家族等からの相談にも対応する専門的な医療機関に関する情報について、家族等や身近な支援者へ周知の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 依存症個別相談 ・ 依存症家族教室（セミナー含む）	○	○	○	○	すべて	個別相談、家族教室の中で情報提供を実施
		・ 依存症の本人や依存症が疑われる人の家族等が訪れる可能性のある区役所の関係各課の窓口などで、依存症の相談につながる相談支援機関の広報物の配架・配布 ・ 家族等からの相談にも対応する専門的な医療機関に関する情報について、家族等への周知の実施	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	・ 依存症って知っていますか？ ・ 依存症のお悩みを抱えるあなたへ ・ 依存症のお悩みを抱えるご家族の皆様へ ・ 依存症家族教室のご案内 ・ 横浜版依存症回復プログラムWAI-Yのご案内 ほか広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	窓口への配架等



施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）		
相談につながるための普及啓発	エ 民間支援団体等による講演会等の開催	・民間支援団体等による講演会等の開催	民間支援団体等	実施	民間支援団体等が依存症の本人や家族、支援者等を対象に講演会等を実施。	○	○	○		民間支援団体等による講演会等の開催	
		・民間支援団体等が開催する講演会等の周知支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】民間支援団体等主催の講演会等の周知	○	○	○	すべて	・こころの健康相談センターでのちらしの配架 ・区等への情報提供 ・家族教室・セミナー等での周知	
		・民間支援団体等が開催する講演会等の周知支援の実施	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	【再掲】民間支援団体等による講演会等への周知協力・参加	○	○	○	○	窓口等での開催案内の配架等	
	オ インターネットを活用した情報提供	・こころの健康相談センターのホームページでの依存症に関する情報の拡充	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】ホームページへの情報掲載	○	○	○	すべて	・ホームページへの各種コラム等の掲載	
		・依存症のセルフチェックや自身のニーズに合った相談・支援・医療機関の検索ができるWebサイトの作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	セルフチェックウェブページの作成	○	○	○	○	自身の依存症のリスクをウェブ上でチェックできる簡易スクリーニングのツールを作成・公開。相談先の検索ができるよう、本市の相談窓口HP及びびかながわ依存症ポータルサイトへのリンクも設定。 セルフチェック実施件数：1,901件（2/3～3/31）	
	（2）アルコール分野における普及啓発	ア 産業保健分野における普及啓発	・市内企業等の人事・労務担当者、従業員をアルコール依存症の相談につながるための情報提供の実施	【神奈川産業保健総合支援センター】	未実施	アルコール依存症の相談につながるための情報提供の実施	○				
			・市内企業等の従業員のアルコール依存症の相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・【再掲】「よこはま企業健康マガジン」に記事配信 ・リーフレットの作成検討	○				【再掲】こころの健康に関する記事を配信（アルコールに関する記述含む） 1回送付。
			・市内企業等の従業員のアルコール依存症の相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局保健事業課	実施	啓発リーフレットの配布	○				・それって、ストレスのせいじゃないの？ 各区福祉保健課に100部ずつ送付
・市職員に向けて、飲酒に関する啓発資料の作成・周知、アルコール依存症に関する相談対応等の実施			総務局職員健康課	実施	・市職員のこころの健康相談で、アルコールなど依存症に関する相談にも対応している。 ・職員に対して飲酒に関する啓発資料を作成・発信している。	○				（相談）随時 （啓発）年1～2回	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム （具体的に） その他	
(3) 薬物依存症に特化した取組	ア 重複処方の人へのお知らせ	・ 医療機関への重複受診や重複・多剤処方が見られる人に対し、薬物依存に関する注意喚起や適正受診に関する指導及び相談支援機関に関する情報提供の実施	健康福祉局保険年金課	実施	①重複頻回対策事業 ②重症化リスク者適正受診勧奨事業（重複投薬、多剤服用者へ適正受診を促す通知）		○		①通知・電話指導30件（延べ）面談：1件 ②1,174人
(4) ギャンブル等依存症に特化した取組	ア ギャンブル等依存症の本人等が相談につながる普及啓発	・ 借金・多重債務問題の相談、法律相談など、依存症の本人等の目に触れる機会や場において相談につながるリーフレット等の配架・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	法テラス等への啓発資料の送付		○		・ 法テラス等4か所へ10部ずつ送付（3月末）
		・ ギャンブル等の事業者と連携し、ポスター掲示やリーフレットの配架・配布など、ギャンブル等の問題を抱える本人の気付きや相談につながるよう、普及啓発を実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】公営競技の場外券売り場等での啓発カードの配架依頼		○		【再掲】公営競技の場外券売り場等での啓発カードの配架依頼
		・ 消費生活総合センターにおいて、ギャンブル等依存症の相談につながる広報物の配架・配布	経済局消費経済課	実施	消費生活総合センターにおいて、ギャンブル等依存症の相談につながる広報物の配架・配布		○	○	・ 「依存症って知っていますか？」 ・ 「依存症のお悩みを抱えるあなたへ」 消費生活総合センター展示・情報資料室にて配架
		・ 関係機関の連携と地域における依存症に関する情報や課題の共有を目的とした連携会議の開催 ・ 関係機関との情報や課題の共有	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市依存症関連機関連携会議の開催及び事例検討等を通じた課題の共有	○	○	○	6/24 全体会 10/27・11/1・11/5 事例検討会 12/14 全体会

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）	
	ア 連携会議による支援情報の収集と共有等 ・連携会議への参加及び関係機関との情報や課題の共有	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有	○	○	○			【再掲】 連携会議への参加
	イ 行政、民間支援団体等、医療機関、身近な支援者などの幅広いネットワークと顔の見える関係の構築 ・連携会議の開催をはじめとした行政、民間支援団体等、医療機関、身近な支援者などによる幅広いネットワークと顔の見える関係の構築	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 横浜市依存症関連機関連携会議	○	○	○			【再掲】 連携会議の開催
	・連携会議への参加をはじめとした行政、民間支援団体等、医療機関、身近な支援者などによる幅広いネットワークと顔の見える関係の構築	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	【再掲】 連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有	○	○	○			【再掲】 連携会議への参加
	・身近な支援者から専門的な支援者へのつなぎを行うための初期チェックリストや連携フローなどを記載した、支援ガイドラインの作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	支援者向けガイドラインの作成検討	○	○	○	○	すべて	連携会議の場等を活用し、支援者向けガイドラインの作成を進めている（令和4年度上半期策定予定）
	・身近な支援者の依存症理解の促進と支援の向上を目指す、研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症対応研修（基礎・実践編）	○	○	○			YouTubeにて配信 配信期間：12/1～1/31 再生回数：基礎編：458回、実践編：209回

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他 （具体的に）	
（１）総合的な依存症	ウ 支援ガイドラインの作成及び支援者向け研修の実施	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有、連携会議の場での支援ガイドライン作成にあたっての検討・情報共有	○	○	○			連携会議の場等を活用し、支援者向けガイドラインの作成を進めている（令和４年度上半期策定予定）
		こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	こころの健康相談センターより、依存症対応研修（基礎・実践編）の周知	○	○	○			【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）（YouTubeにて配信）
	エ 身近な支援者から専門的な支援者へつなぐ取組	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課	実施	各窓口で必要に応じて関係機関と連携しながら、専門的な支援者へのつなぎを実施	○	○	○	○	すべて	・各窓口で専門的な支援者へのつなぎを実施 ・回復支援機関（横浜ダルク・ケア・センター）と連携した個別支援（南区）（10名程度）
		・身近な支援者が依存症の理解を促進する研修等における技術支援・連携	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	支援者向けガイドライン作成検討	○	○	○	○	すべて

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム (具体的に)		
重点施策4 身近な支援者等から依存症支援につなげるための取組	オ 身近な支援者と連携した取組	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課	実施	・【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） ・依存症の理解を促進する研修等の開催・参加	○	○	○		・【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） (YouTubeにて配信) ・神奈川県酒害相談研修や断酒会の例会への参加（南区、港南区、保土ヶ谷区、緑区、青葉区、都筑区、戸塚区） ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修への参加（磯子区） ・団体研修会への参加（都筑区、泉区） ・社会福祉士実習生プログラムで依存症回復施設の見学等を実施（戸塚区）	
	カ 福祉サービス提供事業者等への情報提供や研修の実施	・介護事業者や障害福祉サービス事業者等を対象とした依存症に関する情報提供や研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）	○	○	○		【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） (YouTubeにて配信)
		・子どもの保護者等が依存症の問題を抱えている場合に、早期発見・早期支援につなげられるよう、保育・教育機関の職員などを対象とした情報提供や研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ゲーム依存の悩みを抱える家族や支援者向けのセミナーを家族教室で実施。 ・【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）			○		(ゲーム依存家族セミナー) 日時：8/26 テーマ：ゲーム依存の理解と対応 講師：藤田 純一氏（横浜市立大学附属病院児童精神科外来医長） 参加：26名
		・介護事業者や障害福祉サービス事業者、相談支援事業者を対象とした依存症に関する研修等の参加	健康福祉局障害施策推進課 健康福祉局障害施設サービス課 健康福祉局障害自立支援課 健康福祉局介護事業指導課 健康福祉局高齢在宅支援課	実施	各課が所管しているサービスの事業者へ依存症対応研修（基礎・実践編）等の情報提供	○	○	○		依存症対応研修（基礎・実践編）等の情報提供の実施
		・教育機関の職員などを対象とした研修等の参加	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】薬物乱用防止啓発指導者研修会		○			【再掲】薬物乱用防止啓発指導者研修会
		・教育機関の職員などを対象とした研修等の参加	教育委員会事務局人権教育・児童生徒課	未実施						
	キ 市内の支援者情報をまとめた情報ツールの	・身近な支援者が対象者のニーズに合った支援者を検索できるように、市内の支援者情報をまとめた情報ツールの整備	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ホームページ上で支援者情報の掲載。 ・【再掲】支援者向けガイドライン（作成中）	○	○	○	すべて	ホームページ上で支援者情報の掲載。

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）		
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他 (具体的に)			
組	ク 救急医療機関との連携	・救急医療機関において、依存症が疑われる患者やその家族等への依存症に関する知識の提供や専門的な支援者につなげるための広報物の作成・配架・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	救急医療機関への広報物等の送付による情報提供	○	○	○	○	すべて	市内の救急科のある医療機関に本市作成のリーフレットや広報物等を送付	
		・救急医療機関において、依存症が疑われる患者やその家族等への依存症に関する知識の提供や専門的な支援者につなげるための広報物の作成・配架・配布	医療局医療政策課	その他	精神福祉保健課と連携							精神福祉保健課と連携
	ケ かかりつけ医への研修の実施	・かかりつけ医から専門的な支援者へのつなぎの促進に向けて、「かかりつけ医うつ病対応力向上研修」において、依存症の理解促進を図る内容を追加	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	かかりつけ医うつ病対応力向上研修	○						うつ病に関する基礎知識の講義の中で、自殺との関連問題として、アルコールを中心に依存症に関する内容に言及。 開催日：令和3年11月7日 対象及び実績：県内で医療に従事している医師 82名
	コ 区役所の関係各課が連携した相談等への対応	・区役所の精神保健福祉相談及び関係各課における依存症への理解と相談対応力の向上に向けた依存症に関する研修等への参加 ・各課や関係機関との横断的な情報共有や連携した対応の実施	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区子ども家庭支援課 区福祉保健課	実施	・【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） ・MSW新任研修	○	○	○				【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）（YouTubeにて配信）
	サ 医療関係者による支援者向け研修の実施	・身近な支援者に向けて、専門の医師等による研修の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」の中で、一般医療機関の医療従事者を対象とした研修会を開催	○						日時：2/9 テーマ：アルコール使用障害と回復 講師：野口信彦氏（沼津中央病院医師） 小林洋氏（NPO法人マックデイケアセンター総括責任者・施設長） 参加：28名
(2) アル	・内科等において依存症が疑われる事例をスクリーニングし、専門的な支援者へつなぐための仕組みづくりの検討	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」の中で、減酒外来（内科等の患者のうちアルコールの問題を抱えている患者に対して依存症治療を行う）の取組 ・一般医療機関における依存症が疑われる人の受診状況や対応状況、課題等についてアンケート調査	○	○	○				(減酒外来) スクリーニング実施人数 33名 (医療機関へのアンケート) 配付数：3,110件 回収数：1,264件（回収率40.6%）	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム (具体的に)	
アルコール依存症に特化した取組	ア 内科等での気付きとつなぎ	・ 内科等において依存症が疑われる事例をスクリーニングし、専門的な支援者へつなぐための仕組みづくりの検討 医療局医療政策課	その他	精神福祉保健課と連携					精神福祉保健課と連携
		・ 依存症の本人等がアルコールに起因する疾患により内科を受診した際に、適切に専門医療機関や民間支援団体等へつなぐことができるよう、医療従事者等への情報提供や研修等の実施 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内での医療従事者向け研修	○				【再掲】医療従事者向け研修の実施
		・ 依存症の本人等がアルコールに起因する疾患により内科を受診した際に、適切に専門医療機関や民間支援団体等へつなぐことができるよう、医療従事者等への情報提供や研修等の実施 医療局医療政策課	その他	精神福祉保健課と連携					精神福祉保健課と連携
(3) 薬物依存症に特化した取組	ア 保護観察所との密な連携と情報共有	・ 保護観察所と連携し、保護観察処分となっている人への支援機関に関する情報提供や支援者向けの研修等の実施 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） ・ 家族教室における交流		○		女性	・ 【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編） (YouTubeにて配信) ・ こころの健康相談センター主催の家族教室において保護観察所職員が見学（2回）
		・ 情報交換や緊密に連携を行う体制づくりに向けて、薬物依存のある保護観察対象者等の支援に係る実務者検討会や地域支援連絡協議会への参加 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会への出席		○			1/11 出席（横浜市管内分）
		・ 保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査へ協力し、保護観察の対象となった人への継続的な支援の実施 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査		○			調査対象者：11名
(4) ギャンブル	ア 借金・消費生活・法律相談等	・ 依存症の本人や依存症が疑われる人から相談があった場合に、借金・消費生活・法律等に関する相談窓口等の身近な支援者から専門的な支援者へつなぐとともに、関係機関のホームページ等に掲出される情報を紹介するなどの啓発を実施 経済局消費経済課	実施	消費生活総合センターにおいて、依存症の本人や依存症が疑われる人から相談があった場合に、借金・消費生活・法律等に関する相談窓口等の身近な支援者から専門的な支援者へつなぐとともに、関係機関のホームページ等に掲出される情報を紹介するなどの啓発を実施			○	○	消費生活総合センターで、令和3年度中に受け付けた消費生活相談のうち、3件において、依存症に関する窓口を紹介（令和4年3月11日現在）

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施している ものも、担当課を分けて 記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	（具体的に） その他		
取組 等 依存症に 特化し	から専門的 な支援者へ のつなぎ及 び啓発	・ 依存症の本人や依存症が疑 われる人が相談に訪れる可能性 のある、借金・消費生活・法律 等に関する相談窓口等で、依存 症の可能性に気づき、専門的な 支援者等へつなぐことができる よう、相談に携わる人に向け て、依存症に係る情報提供や研 修などを実施	健康福祉局こころの健康相 談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】法テラス等への啓発資料の送付	○	○	○	○	すべて	【再掲】法テラス等への啓発資料の送付
	ア 行政に おける相談 支援	・ 専門相談を実施するととも に、回復プログラム等の案内や 専門的な支援者等との連携な ど、回復に向けたつなぎの実施	健康福祉局こころの健康相 談センター	実施	依存症専門相談窓口	○	○	○	○	すべて	相談延件数：1,047件
		・ 区役所の精神保健福祉相談 において、相談対応を行うと ともに、地域の身近な窓口として 継続的な支援の実施	区高齢・障害支援課	実施	精神保健福祉相談における依存症に関する相談対応	○	○	○	○	すべて	相談延件数：2,745件
	イ 回復プ ログラム・ 家族教室の 実施	・ 依存症のメカニズムや再発 のサイン・対処法について一纏 に考える回復プログラムの実施	健康福祉局こころの健康相 談センター	実施	回復プログラムWAI-Y	○	○	○	○	すべて	月1クール（6～3月、全8回）、週1クール（6～ 7月、全8回）実施 実15名（延べ61名）参加
		・ 家族等が依存症について学 び、対応方法・回復について考 える家族教室の実施	健康福祉局こころの健康相 談センター	実施	依存症家族教室	○	○	○	○	すべて	12回実施、延べ200名参加 （5/20、8/26は公開セミナー、11/26は夜間セミナー を実施）
		・ 地域資源を活用した家族教 室の実施	区高齢・障害支援課	実施	依存症（アディクション）家族教室	○	○	○	○	すべて	10区で実施 （鶴見区、神奈川区、南区による合同開催） （保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区による合同開催） （港北区、緑区、青葉区、都筑区による合同開催）
ウ 民間支 援団体等 による依存 症の本人 や家族等 への支援	・ 民間支援団体等がそれぞ れ の特性を生かした、依存症の 本人や家族等の回復に向けた取 組の実施 ・ 他の民間支援団体等や関係 機関と情報共有を図りながら、 本人や家族等のニーズに合った 支援の提供	民間支援団体等	実施	・ 各民間支援団体等による支援活動 ・ 連携会議への参加等を通じた情報共有	○	○	○	○	すべて	・ 各民間支援団体等による活動 ・ 連携会議への参加	



施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施している ものも、担当課を分けて 記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム (具体的に その他)		
重点 施策 5  専 門 的 な 支 援 者 に よ る 回 復 支 援 の 取 組	エ 利用者のニーズに合った制度の検討	・ 障害者総合支援法等の制度内で対応しきれない依存症特有の支援ニーズに対して、利用者の回復につながる利用制度に向けた調整の検討	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	未実施	障害福祉サービスや地域活動支援センターにおける依存症特有の支援ニーズを踏まえた利用制度に向けた調整の検討					
		・ 障害者総合支援法等の制度内で対応しきれない依存症特有の支援ニーズに対して、利用者の回復につながる利用制度に向けた調整の検討	健康福祉局障害施設サービス課	未実施	精神保健福祉課と連携					
	オ 民間支援団体等への活動支援	・ 民間支援団体等が継続して依存症の本人や家族等を支援できるように、団体が行うミーティング・普及啓発・相談等の活動へ補助の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体支援事業補助金	○	○	○		8団体全16事業へ交付（うち3事業中止による交付決定取消）
		・ 男女共同参画センターの会議室等を自助グループの活動場所として提供 ・ 自助グループが開催するセミナーの支援の実施	政策局男女共同参画推進課	実施	・ 自助グループ支援事業 ・ 女性の依存症者の回復についてのシンポジウム「アディクションだよ、全員集合！！ ～女性と家族の回復～」(共催)	○	○	○	共依存 摂食障害	(自助グループ支援) 15グループ(依存症関連) (シンポジウム) 日時：10/24 テーマ：アディクションと女性の生きづらさ 対象者：依存症者本人・家族、一般市民、回復支援従事者等 登壇者：小林 桜児氏(神奈川県立精神医療センター副院長兼医療局長) 井上 恭子氏(同センター カウンセラー) 山田 きよみ氏(川崎ダルク コージーブレイス) 小嶋 洋子氏(女性サポートセンター-Indah代表) 参加：121人
・ 感染症予防に必要な物品を含めた活動補助の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体支援事業 補助金	○	○	○		【再掲】8団体全16事業へ交付		

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）	
カ 施設の危機管理体制充実に向けた支援	・ 障害福祉サービス事業所や地域活動支援センターを対象として、災害時等における施設運営に有益な情報の提供や福祉避難所としての備蓄品購入の補助の実施 ・ 施設運営に関する情報提供や緊急時対応マニュアルの作成の推進 ・ 感染症予防に必要な物品の導入補助の実施	健康福祉局障害施設サービス課	実施	・ 障害福祉サービス事業所や地域活動支援センターに対して、「災害時対応マニュアル」や「緊急時対応マニュアル」の作成支援。 ・ 福祉避難所を運営する社会福祉法人等に助成金を交付。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策として「障害福祉サービス継続支援事業」を実施し、衛生物品等の購入に対する補助を行っている。						・ 「災害時対応マニュアル」や「緊急時対応マニュアル」作成等を促すとともに、実地指導の際に内容を確認し、必要な助言等を実施。 ・ 福祉避難所としての備蓄品購入の助成金を交付。 ・ 「障害福祉サービス継続支援事業」の実施による衛生物品等の購入に対する補助。
キ スタッフの人材育成・セルフケアのための取組	・ 民間支援団体等の職員の人材育成や離職防止に向けて、支援スキル向上やセルフケアのための研修会の開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ リカバリースタッフ研修 ・ 久里浜医療センターでの研修の周知等	○	○	○			日時：11/25（オンライン） 講師：八巻 秀 氏（駒沢大学文学部教授（臨床心理士）） 参加者：22名（回復支援施設等のリカバリースタッフ）
ク 連携会議による情報共有	・ 行政、医療、福祉・保健、教育、司法などの関係機関がお互いの理解を深め、本人等が必要な支援にアクセスしやすいネットワークの構築を目指した連携会議の開催・参加	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】横浜市依存症関連機関連携会議	○	○	○			【再掲】連携会議の開催
ク 連携会議による情報共有	・ 行政、医療、福祉・保健、教育、司法などの関係機関がお互いの理解を深め、本人等が必要な支援にアクセスしやすいネットワークの構築を目指した連携会議の開催・参加	こども青少年局児童相談所 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	【再掲】連携会議への参加	○	○	○			【再掲】連携会議への参加
ケ 専門的な医療機関の充実に向けた研修等	・ 依存症の治療に対応できる医療機関の充実を図るため、精神科等の医療関係者に対する研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 【再掲】「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内での医療従事者向け研修 ・ 久里浜医療センターでの研修の周知等	○					【再掲】医療従事者向け研修の実施

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）		
重点 施策 6 地域	ア 連携会議によるサポート体制の構築	・身近な支援者が専門的な支援者と支援情報の共有等の促進を図り、地域生活の中で回復し続けられる支援体制の構築を目指すため、連携会議の開催・参加	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】横浜市依存症関連機関連携会議	○	○	○		【再掲】連携会議の開催	
		・身近な支援者が専門的な支援者と支援情報の共有等の促進を図り、地域生活の中で回復し続けられる支援体制の構築を目指すため、連携会議の開催・参加	こども青少年局児童相談所 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区子ども家庭支援課 区福祉保健課 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	【再掲】連携会議への参加	○	○	○		【再掲】連携会議への参加	
	イ 地域における依存症の支援	・地域生活の中での回復の継続に向けて、関係する各主体と専門的な支援者が、情報や技術を共有するとともに、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けた協議の場等において、関係者間の連携を進め、支援体制を構築	健康福祉局精神保健福祉課	実施	・区域・市域での協議の場の開催 ・担当者向け説明会の開催 ・庁内関係各課へ精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを知ってもらうための働きかけ等						・区域の協議の場については区の実情に合わせ、2か月に1回程度の開催予定 ・市域の協議の場については年3回開催予定
		・依存症を抱える本人の地域での生活を支える、介護事業者や障害福祉サービス事業者、相談支援事業者がスムーズに支援を行うことができるよう、依存症に関する情報提供や研修等を実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）	○	○	○			【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）（YouTubeにて配信）
	ウ 回復や支援に関する情報共有	・依存症の様々な支援のあり方や回復プロセスの共有及び関係機関への周知	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	未実施		○	○	○	すべて	R4年度依存症相談支援スキルアップ講座 支援者向けガイドライン	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他（具体的に）		
で生活しながら、回復を続けることをサポートする取組	エ 更生保護と一体となったサポート	・ 保護観察所等と連携して、民間支援団体等に関する情報提供や依存症以外の問題に関する相談対応の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	年1～2回の意見交換会 【再掲】保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査						・ 意見交換の実施 ・ 【再掲】コホート調査対象者：11名
		・ 回復後も切れ目ない支援を継続するため、薬物事犯による保護観察対象者を対象とするコホート調査への協力	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査		○				【再掲】調査対象者：11名
	オ 就労の支援	・ 行政と民間支援団体等が連携し、依存症からの回復者を雇用する企業や関係機関に対し、依存症からの回復と就労の両立のために必要な知識等の普及啓発	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	未実施	・ 企業メルマガ ・ リーフレット配布等の検討	○	○	○	○	すべて	R4年度企業メルマガ (5・7・10月セミナーお知らせ、11月AI記事)
		・ 若者サポートステーションにおいて、就労に向けて様々な困難を抱える15～49歳の人及びその家族等を対象として、総合相談や就労セミナー、就労訓練等の実施	こども青少年局青少年育成課	実施	【事業】 若者サポートステーション事業						困難を抱える方を対象としており、依存症または特定の依存症分野に限定しない。 ・ 総合相談 ・ 就労セミナー ・ 就労訓練 等を実施
		・ 障害者就労支援センターにおいて、働くことを希望する障害児・者を対象として、就労に関する相談、職場実習等を通じた適性把握、求職活動支援や就労後の定着支援等の実施	健康福祉局障害自立支援課	その他	求職支援、定着支援に関する就労の全般的な相談支援を実施	○	○	○	○		求職支援、定着支援に関する就労の全般的な相談支援を実施
		・ 依存症からの回復を続ける人や、依存症に関連する犯罪により刑務所等から出所した人が地域の中で住み続けられるよう、依存症に関する正しい知識の普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	・ 【再掲】広報よこはまへの記事掲載 ・ 【再掲】公共交通での動画広告の掲載 ・ 【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成 ・ 【再掲】Twitterでの情報発信	○	○	○	○	すべて	【再掲】啓発リーフレットの作成・配布
	・ 住宅に困窮する低額所得者で市内に在住又は在勤の人に対して、公募により市営住宅の提供	建業局市営住宅課	実施	市営住宅入居者募集	○	○	○	○		年2回実施（4月・10月）	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施している ものも、担当課を分けて 記載	実施状況	事業・取組名・内容など	対象とする依存症の分野				実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム (具体的に)	
カ 自立後の住まいの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>低額所得者、障害者等が民間賃貸住宅への入居をしやすくする仕組みとして「住宅セーフティネット制度」の活用</li> <li>住宅確保要配慮者の居住支援を充実させるため、横浜市居住支援協議会と不動産事業者や福祉支援団体、区局の連携を強化する制度の検討</li> </ul>	建築局住宅政策課	実施	①セーフティネット住宅の登録制度 低額所得者、障害者等の住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅（セーフティネット住宅）として大家が住宅を登録する制度 ②セーフティネット住宅の家賃などへの補助（家賃補助付きセーフティネット住宅） ③住宅確保要配慮者に対する居住支援（横浜市居住支援協議会による取組）				「住宅確保要配慮者」として定義づけられている属性（低額所得者、障害者等）のいずれかに当てはまる方が対象。	①セーフティネット住宅登録戸数：8,867戸(R4.2.28現在) ②家賃補助付きセーフティネット住宅戸数：98戸(R4.3.10現在)
		建築局住宅政策課	未実施	よこはま居住支援サポーター登録制度 (相談者の個々の状況に応じた居住支援を充実させるため、居住支援を行う団体等を「サポーター」として登録する制度)				「住宅確保要配慮者」として定義づけられている属性	(R4.4月～試行、R5.2月～開始予定)
その他の取組		健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	事業者団体へのヒアリング調査	○	○	○		アルコール、薬物、ギャンブル等、ゲームに関連する各2団体（計8団体）に対してヒアリング調査を実施。

こころの健康相談センター等における  
令和4年度の依存症対策事業について

<こころの健康相談センター及び精神保健福祉課が実施する取組>

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
5月	ギャンブル等依存症家族向けセミナー【継】	5月31日 横浜市社会福祉センター 参加者：41名（ご家族、支援者） 講師：松崎医師（久里浜医療センター精神科医長）	3、4、5
5月～	ギャンブル等依存症相談窓口紹介カードの配布【継】	依存症の簡易チェックリスト、相談窓口などを掲載したカードを配布し、配架を依頼。 配付先：各福祉保健センター、自助G、回復施設等	3
5月	公共交通における動画広告【継】	相談を勧奨する動画を作成し、公共交通機関で放映 <b>車内広告</b> ：横浜市営地下鉄、JR 横浜線、相鉄線、市営バス、神奈中バス <b>ホームドアビジョン</b> ：みなとみらい線（馬車道駅、元町・中華街駅） <b>掲示期間</b> ：令和4年5月2日～5月29日（ホームドアビジョンのみ5月31日まで）	1、2、3
5月	・広報よこはま【継】 ・横浜市 Twitter からの発信【継】	・広報よこはま5月号ので、ギャンブル等依存症啓発週間に合わせたセミナーや相談先について案内。 ・横浜市 Twitter からのギャンブル等依存症啓発週間についての発信	1、2、3
5月～ 3月	インターネットリスティング広告【継】	Yahoo! 及び Google の検索エンジンでの依存症に関連する単語で検索された際に、こころの健康相談センターを案内するインターネット広告の表示	3
6月～ 3月	<u>インターネットを活用した相談支援事業【新】</u>	<u>インターネットの検索連動広告を活用した、背景に依存症の問題を抱えるハイリスク者を対象としたメール相談を実施</u>	3
6月～	<u>民間支援団体の活動紹介【新】</u>	<u>こころの健康相談センターを民間支援団体の活動を紹介する場として活用</u>	5
7～10 月	スキルアップ研修【新】	R3年度まで実施していた基礎・実践研修から依存症に関する相談支援のスキルアップを目指す支援者向け研修として開催（オンライン開催）（7・8月：基礎編、9・10月実践編を各月1回）	4、5、6
8月	ゲーム障害家族向けセミナー【継】	8月18日 横浜市社会福祉センター 講師：藤田医師（横浜市立大学附属病院児童精神科外来医長）	3、4、5

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
9～10月	公共交通における動画広告【継】【再掲】	5～6月と同様、啓発動画を公共交通機関で放映。 依存症全般に関する基礎知識と相談勧奨の動画。 掲示期間：令和3年9月～10月のうち4週間 (交通機関により実施時期が異なる)	1、2、3
10月	家族支援・行動依存に関するリーフレットの改訂【新】	家族支援や行動依存（ギャンブル・ゲーム）に関するリーフレットをリニューアルし、配布（予定）。	1、2、3
10月	支援者向けガイドラインの完成【新】	身近な支援者等が支援に迷った時などに活用できる手引きである支援者向けガイドラインの完成（予定）	4
11月	・広報よこはま【継】 ・横浜市 Twitter からの発信【継】	・広報よこはま 11月号で、アルコール関連問題啓発週間に合わせたセミナーや相談先について案内。 ・横浜市 Twitter からのアルコール関連問題啓発週間についての発信（予定）。	1、2、3
11月	リカバリースタッフ向け研修【継】	時期・講師等詳細未定	5
11月	アルコール依存症家族向けセミナー【継】	11月25日 横浜市技能文化会館 講師：早間精神保健福祉士（誠心会 神奈川病院）	3、4、5
11～12月	公共交通における動画広告【継】【再掲】	5～6月、9～10月と同様、公共交通機関で放映。 アルコール依存症に関する相談勧奨の動画。 掲示期間：11月10日～16日を含む4週間 (交通機関により実施時期が異なる)	1、2、3
12月	ゲームに関する啓発ちらしの作成・小中学校での配布（教育委員会と共同実施）【継】	家庭でのゲームとの付き合い方を子どもと話し合い、ルール作りをするきっかけとなること、また、ゲームによる問題がすでに起きている場合に相談につながることを目的とした、保護者向けのちらしを作成し、市立の小中学校で配布。 配布対象：小学4年生から中学3年生	1、3
3月	依存症関連啓発資料の関係機関・団体への発送【継】	主に横浜市内の関係団体・機関・関連部署等へ、こころの健康相談センターで作成している広報物を発送し、実情に応じて配架・配布を依頼。	1、2、3、4、6
3月	若年層向け普及啓発動画及び家族等向け支援紹介動画の制作・公開【新】	<u>SNS等を活用した主に若年層向けの依存症の正しい理解を促進する普及啓発動画及び依存症の家族等向けに依存症の回復過程を理解する紹介動画を制作し、公開</u>	1、2、3

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
通年	依存症セルフチェックウェブページの公開、周知広報物の作成・配布 【継】	Web 上で依存症の簡易スクリーニングテストができるページを公開。また、ウェブページを周知する広報物を作成し、配布。 依存対象：アルコール（AUDIT）、薬物（DAST-20）、ギャンブル等（SOGS）、インターネット（IAT）	3
通年	減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業【継】	横浜市立大学への委託事業で、市民総合医療センター内の減酒外来において、以下の取組を実施。 (1) 専門職員を配置し、通院患者・入院患者のアセスメント、依存症治療・支援へのつなぎ (2) 民間団体との連携及び支援情報の収集と整理 (3) 地域の医療機関の医療従事者向けに専門的な医療の知見を活かした研修、一般市民及び依存症者の家族等向けの普及啓発	1、2、3、 4、5
通年	家族教室【継】	月1回実施（5月、8月、11月は公開セミナーを実施【再掲】） 医療機関、民間支援団体等からの講師による講義・体験談、職員によるクラフト（年4回）	5
通年	回復プログラム 【継】	全8回×2クール（2週に1回×8回） 令和元年度までは、週1回のコースを実施。令和2～3年度は、仕事等と両立しながら通う方を想定し、月1回のコースを試行実施した。	5
通年	相談件数【継】	専門相談員による電話・面接での相談	5



実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
随時	連携会議【継】	<p>令和4年度は5回開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1、2回はテーマ別の会議を開催。</li> </ul> <p>第1回：7月12日 こころの健康相談センター+Web テーマ「物質依存を抱えている人への支援を考える」</p> <p>第2回：7月15日 こころの健康相談センター+Web テーマ「行動依存を抱えている人への支援を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回は全体会を開催し、支援者向けガイドライン（仮称）の完成を報告。</li> </ul> <p>第3回：10月頃 講演：菱本医師（横浜市立大学医学部教授） テーマ：依存症支援に必要なネットワークや支援者向けガイドライン（仮称）の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4、5回は事例検討会の開催。</li> </ul> <p>第4回：12月頃 テーマ「家族からの相談に応じるために支援者ができることを考える」</p> <p>第5回：12月頃 テーマ：借金や金銭問題を抱えている人への支援を考える</p>	4、5、6
その他	民間支援団体補助金【継】	<p>民間支援団体の活動を支援するため、団体が実施するミーティングや普及啓発、相談活動等の事業への補助金を交付</p> <p>応募数：6団体 11事業（7月中旬交付決定予定） （令和2年度：13事業、令和3年度：16事業）</p>	5